

今年も陽光桜を54本植樹しました  
地域に13年連続植樹で累計660本

(当会のHP) <http://kodou.1jimdo.com>  
(FACEBOOK) <https://.facebook.com/京おとくに街おこしネットワーク>

平和の桜「陽光桜」と出会い、最初の植樹をしたのが2011年1月でした。

柳谷に50本を植樹、満12年経過し今では見事にピンク色の鮮やかな花色で多くの観光客に喜んでもらい、昨年はKBS京都の「京都の桜生中継」にも登場するなど、多くの人に知られるようになりました。私達の普段からの愛情込めた手入れの結果であり、樹木も手入れをすることで、立派に成長してくれています。

翌年は長岡公園にも40本の桜を寄贈し植樹を行い、あとのメンテは市に任せましたが、害虫駆除や肥料等が十分行われておらず十分に成長していません。一般に公園等でしっかりメンテができていないところは不十分な成長であり、折角の植樹に対するフォローが公共公園での焦眉の課題と言えるでしょう。

今年も2月12・13日に会員延べ28名が参加し、柳谷・八条が池中之島・長岡京市内の公園2か所や十輪寺、長尾天満宮からの要望に応じて植樹をおこないました。

毎年50本平均の植樹を13年間続けており、今年の植樹で660本に達しました。陽光桜を毎年50本連続して植樹を続けている場所は全国どこにもないそうです。

長岡京市を中心に向日市、大山崎町等の60か所以上に陽光桜の植樹を続けており、全国でも屈指の陽光桜がいろんなところで見られる地域となりました。

この桜の開発理念のように平和が世界に訪れんことを願っています。



愛媛県の農園から  
トラックに満載して到着

会員が手際よく植樹  
場所ごとに仕分け

西山古道の魅力

地元の人たちにとっては、京都西山は知られていない地域でもある。地元の高齢者にとっては、昔薪として西山から薪を切りだしたり、松の木が多い時にはマツタケ取りに山に入ったことぐらいで、そのことも知っている人たちは少なくなり、それ以外に関心はことさら有していない。平安時代には弘法大師が乙訓寺～柳谷観音まで川伝いに上ったり、江戸時代には善峯寺～柳谷観音間を、先人たちが切り開いた参詣道であった。昭和の初めには、東向日駅～奥海印寺迄新たに鉄道が計画される等の図面が残っている。この歴史ある西山古道の復活を西山三山から要請を受け、16年前に自然のままの道として復活して以降、今日まで欠かさず定期点検や補修作業を続けており、2021年には年間25日、2022年には17日整備を行い、いつでも気持ちよくハイキングを楽しんでもらおうと努めています。

阪急電車も京都線唯一のハイキングコースとして西山古道をPRしているし、JR京都駅の観光案内の京ナビでは「西山古道」のチラシが月に1000部近く観光客に持ち帰られています。古道で出会うハイカーもほとんどが地元以外の人たちです。

西山古道のエリアが長岡京市以外も含まれているとか、民有地である、交通の便が悪い、ガイドが高齢化等の理由付けがありますが、新たな京都観光の魅力として静かな京都を愉しみたいとSNSを利用してこの西山に魅力を感じて訪ねてくる人たちに民間だけに任すのではなく、もっと手を差し伸べることも必要ではないでしょうか。(私たちは毎月17日の柳谷観音の月縁日に参詣の皆さんに「京都・長岡京おさんぽBOOK」を差し上げ、帰りに長岡京市内を訪ねるようにPRに努めています。)



長岡天満宮八条が池中之島



柳谷駐車場緑地帯



十輪寺庭園



醍醐長尾天満宮

～ 2月後半行事予定 ～

- 2月17日(金) 柳谷観音月縁日・大護摩焚き  
スモークチーズ販売
- 20日(月) 定例作業日
- 23日(木) 理事会(サポセン15:00~)
- 27日(月) 定例作業日

\* 大護摩焚きは柳谷観音の月縁日で最もにぎわう縁日となります。